

2015年4月21日

「ANA×トヨタ紡織」国内線普通席の新シートを共同開発

～国内線に Japan Quality の新シートを導入し、快適性を追求～
～自動車部品メーカーのトヨタ紡織が航空機シートを初めて開発～

全日本空輸株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:篠辺 修、以下:ANA)とトヨタ紡織株式会社(本社:愛知県刈谷市、代表取締役社長:豊田 周平、以下:トヨタ紡織)は、国内線普通席のシートを共同開発いたしました。今回、トヨタ紡織としては初めて航空機シートを開発・製造します。

共同開発するにあたり、ANA はエアラインとしてのノウハウ・ニーズを提供し、トヨタ紡織は長年にわたり多種多様な自動車用シート開発を通して培ってきたデータと高品質のモノづくりを活かしました。そして「お客様の心に残るひとときを」をコンセプトに、快適にお座りいただけるシートを作り上げました。

ANA は日本で唯一の5スターエアラインとして、国内線においてもプロダクトとサービスの向上に努めて来ました。当該シートは2015年6月より導入し、2016年度までにB767-300型機6機(席数合計:1,560席)に装着する予定です。これによりB777 および B787 に加え、B767 においても普通席を刷新し、機内での快適性を高めていきます。

1. 新座席仕様

- 座席幅 : 17.5 インチ
- 座席間隔(ピッチ) : 31 インチ
- 配列 : 2-3-2

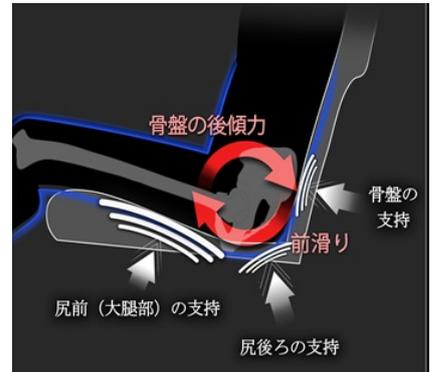


2. シートの特徴 ～ Japan Quality ～

コンパクトカーから高級車、レース用車両など、様々な自動車用シート開発で培った人間工学に基づく座り心地の知見を活かし、小柄な方から大柄な方までリラックスできるシートを開発。

① 「座り心地」へのこだわり

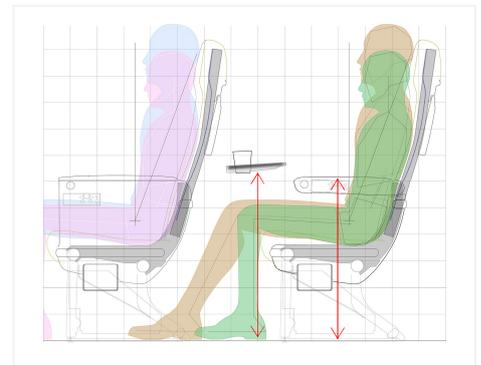
- ・ 人の身体をどう支えるかが「座り心地」を追求する上で最も重要と考え、身体の根幹である腰(骨盤)をしっかり支持することで、腰周りの筋肉の疲労を抑え、リラックスできる姿勢を保持するシート構造。(図1)
- ・ どのような体格でも心地よくフィットするシートを追求し、身体にかかる圧力をバランスよく分散するように、背もたれや座面の形状、高さ、長さ、角度、構造を設計。



(図1) 骨盤支持の考え方

② 「使いやすさ」へのこだわり

- ・ 身体に合った使いやすいテーブルの高さや、自然に肘が支えられるアームレストの高さなど、小柄な人から大柄な人まで誰もが心地よいと感じる位置やカタチを、様々な角度から検証し設定。(図2)



(図2) 体格差を考慮したレイアウト

③ 「空間」へのこだわり

- ・ 丸みを帯びたシートのカタチで、座る人の視界を広げ、「開放感」を創出。
- ・ 目線の高さにファブリックを使い、柔らかくで圧迫感の少ない、やさしい空間づくり。

人から始まるカタチ

見てやさしい、触れてやさしい



以上